【平成２７年度　北海道旭川東高等学校　学校評議員会報告】

第１回学校評議員会

期　日：平成２７年７月４日（金）　１３：００～１３：４５

会　場：北海道旭川東高等学校　校長室

出席者：学校評議員４名、校長、全定教頭、事務長　８名

今回は、生徒の取組を見ていただくため、学校祭に合わせて評議員会を開催しました。

第１回目の会議では、委嘱状交付の後、校長から「本校の現状と学校経営上の課題」について説明、続いて全日制・定時制教頭がそれぞれの課程について概要を説明しました。

意見交換では、学校の現状について多くのご質問や、貴重なご意見をいただきました。

〔校長からの説明〕

生徒の在籍状況について説明

全日制の部活動については、複数の部活動を兼ねている生徒もいるため、１２０％位の加入率となっている。その中でも特筆すべきものとしては、男女の山岳部が、個人では陸上の北口さんが全国大会に出場する。文化系では、吹奏楽部の全国大会出場が決まっている。

進学の面でも、生徒、先生方は非常に頑張っているが、現在の難関大学への合格率に満足することなく、今後も取り組んでいきたい。

〔学校概要説明〕

（１）　全日制課程

平成２６年度の進路状況についての説明

在校生は、女子生徒の入学が増加傾向にあり、２学年では文系が増加傾向にある。

今後、大学入試システムの変更に対応していくため、校内プロジェクトを立ち上げ、学校体制を再構築していく予定である。

（２）　定時制課程

入学して来る生徒の状況について説明

生徒数が減少傾向にある。

現在、バドミントン部が活動し、女子シングルスで全道大会出場を果たしている。

平成２６年度卒業生の進路状況について説明

定時制課程の特徴的な取組について説明

・三修制による卒業認定

・科目履修生の受入(道民カレッジとの連携講座)

・今年度より、インターンシップを再開